



**社会を明るくする運動**  
7月1日、府中地区保護司会神石分区分と府中地区更生保護女性会神石分区分の会員が、犯罪のない明るい社会を築こうと関係機関へ協力を呼びかけられました。

始めに、牧野町長へ法務大臣のメッセージ「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」を渡され、油木高校や町内の全中学校を訪問されました。そして、それぞれの立場において力を合せて安全で安心して暮らせる地域社会づくりを進めるよう協力をお願いされました。



## 春の叙勲（瑞宝双光章）を受章されました

平成23年春の叙勲が4月29日に発令され、安名弘行さん（下豊松）が瑞宝双光章を受章されました。安名さんは、半世紀にわたり地元でに密着した歯科医療を行われ、住民の歯科医療の向上に努められています。特に、医院継承時から学校歯科医として豊松地区の小中学校での健診、また、幼児・児童を対象にしたフッ素塗布を定期的に行われ、幼児から学童期における歯科保健衛生の普及向上に尽力され、その功績が顕著であると認められ受章となりました。



## 一面に広がる緑のジュータン

新三和小学校が開校し、子ども達がいなくなった旧三和小学校グラウンド（三和多目的広場）を新たな「町民の憩いの場」とし、地元小島地域の方が芝刈り・手入れを行ってくださり、芝生のグラウンドが見事な緑のジュータンとなりました。



7月18日にはお披露目も兼ね、町内外から100名以上の参加を得てグラウンド・ゴルフ大会を開催されます。この芝生広場が新たな交流の拠点となることでしょうか。このグラウンドは一般利用もできます。

●お問い合わせ 教育委員会生涯学習課

☎89・3344

## みんなの活力に 豊松に新たなシンボル

豊松地区の地域おこし団体「雑草の会」（高木司朗座長）の11名が6月16日、豊松の中心部を通る県道沿いに、物見棟を建設されました。この物見棟は木製・高さ7.5mで、イベントなどの行事を知らせる懸垂幕を掲げられます。制作期間は約2カ月で、全て会員の手作り。「会員だけで制作したので色々苦労したが、この計画にあたり、たくさんの住民の方の協力を頂いて今日の完成を迎えることができた。この塔から元気を発信し、町の活性化に繋がりたい」と話されました。

豊松にできた新たなシンボルをみなさんご覧ください。



## 第3回 神石高原マルシェを開催します！

第3回目の今回は、旬の魅力あふれる「トマト」をテーマに、食材の宝庫「神石高原町」の産品をふんだんに使った創作グルメや安心安全なこだわり野菜が盛りだくさん!!ヘリコプター無料搭乗体験や楽しいステージイベントなども加わって、「美味しさ」「楽しさ」「笑顔」が出合う「神石高原マルシェ」にぜひお越しください！

また、JFA全日本フリスビー犬公式シリーズ選手権も同会場で開催します。

- 日時：7月30日（土）・31日（日）  
午前9時～午後4時（少雨決行）
- 場所：仙養ヶ原ふれあいの里  
（神石高原町上豊松72-8）

次回、第4回神石高原マルシェ開催決定！出展者を募集します。出店要件は、第3回と同様です。

日時：8月28日（日）  
場所：道の駅さんわ182ステーション芝生広場  
詳しくは、神石高原マルシェ実行委員会へお問い合わせください。

お問い合わせ先：神石高原マルシェ実行委員会  
（まちづくり推進課 ☎89-3332）

## 生産者と消費者の信頼を育む「地産地消」

食育ミニ知識

毎月19日は食育の日

「地産地消」とは、地域で生産された農産物をその地域内で消費するという考え方により行われる取り組みです。



地元で採れる新鮮で質の良い農産物を地元で消費することにより、生産者と消費者の間に「顔の見える関係」ができ、信頼が深まります。それが、より質の良い食材を確保し、また、生産者を育てることにもなります。

「楽しい食事が元気になる」  
家族そろって心とからだにおいしい食事を！

神石高原町食育推進ネットワーク協議会 地産地消部会

## 町立病院からのお知らせ

### 「病院見学」

6月14日（火）、三和中学校3年生29名による「病院見学」が行われました。3年生の総合的な学習の時間に、「夢の実現プロジェクト」、「地域への提言書」というテーマで、地域や自己の課題解決や社会貢献について考えるための、調査が目的でした。

院内の見学では、受付のカルテシステム、レントゲン室、手術室など、普段見られない設備を見学し、各担当者からの熱い説明もしっかり記録していました。



～院長への質問～  
「神石高原町のメリット、デメリットは？」

～院長の話～  
「医療は営利目的で行うものではありません。地域の皆さんの医療を守るため、住民も職員も頑張っています。神石高原町は空気がおいしくて、人がやさしいので医療環境はとても良いところなんです。ただ、医療に携わる人がいません。医療は、機械だけではできません。人がいて行えるものです。全国的にも、へき地の医師が減り危機的な状態です。」

このような熱心なやりとりがされ、予定時間を超える見学となりました。中学生のみなさんが、神石高原町の「力と宝」を生かしながら課題を解決し、未来へ挑戦するために、どんなプロジェクトや提言書をまとめてくれるのか楽しみにしています。